

【特集展示】「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界文化遺産登録3周年記念展 遠ざかる「世界」、キリシタンが待ち望んだ「世界」 ～古地図と潜伏キリシタンの信仰用具～

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されて3周年を迎えることを記念し、長崎県とゼンリンミュージアムとのタイアップによる特集展を開催します。

本展は、キリシタンと「世界」との接近と隔絶という視点で、大航海時代の古地図に描かれた日本の姿や、キリシタン大名とキリスト教の関わり、潜伏キリシタンの密かな祈りを物語る信仰用具などを中心に紹介するものです。

第1章 大航海時代とキリシタン大名

ポルトガル船の来航によって世界と日本は大きく近づきます。商人や宣教師がもたらす情報によって、「ジバング」の情報はヨーロッパへ伝えられ、精緻な地図も作られるようになります。日本に伝わったキリスト教は、大村純忠らキリシタン大名に保護され全国に広まりました。

第2章 遠ざかる世界と潜伏キリシタンの祈り

江戸幕府による禁教と海禁政策によりポルトガル船が追放されると、地図に描かれる日本の情報も乏しくなっていきます。宣教師も不在となる中で孤立した日本のキリシタンは、自分たちだけで信仰を継承することとなり、独特の信仰形態が育まれました。

第3章 再び出会った世界と日本

幕末、2世紀ぶりに日本が開国すると、再び世界と日本は出会います。キリシタンも世界に例をみない孤立を経て宣教師と再会し、新たな信仰用具がもたらされました。



お掛け絵【セベリアの聖母】
平戸市生月町博物館・島の館蔵

特集展示

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界文化遺産登録3周年記念展
遠ざかる「世界」、キリシタンが待ち望んだ「世界」
～古地図と潜伏キリシタンの信仰用具～

会期／2021年10月20日(水)～11月14日(日)

時間／8:30～19:00(最終入館18:30)

会場／特集展示室(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

観覧料／大人630円、小中高校生310円 ※県内小中学生は無料

主催／長崎県 共催／長崎歴史文化博物館 協力／ゼンリンミュージアム

【本展に関するお問合せ】 長崎県世界遺産課 TEL 095-894-3171

講演会(長崎学スタンダード講座)

日時／2021年11月6日(土)14:00～15:30

会場／長崎歴史文化博物館1Fホール

内容／■大航海時代の日本地図—地図から読み解く日欧交流—
講師／佐藤 渉氏(ゼンリンミュージアム館長)

■四世紀をこえてキリシタンに伝承された南蛮の壺—注目される展示資料の紹介—
講師／川口 洋平氏(長崎県世界遺産課課長補佐(文化財保護))

定員／30名(ハガキかFAXで事前申込制・先着順・定員になり次第受付終了)

申込先／長崎歴史文化博物館(長崎市立山1-1-1 FAX:095-818-8407) ※聴講無料

※新型コロナウイルス感染症流行状況により、オンライン開催となる場合がありますのでご了承ください。

